

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和7年度第4回南小・中学校 学校運営協議会
日時	令和8年2月17日（火曜日） 14時30分～16時00分
場所	南中学校 翔南ルーム
出席委員	宇津木会長、内野泰委員、佐藤孝委員、佐藤嘉委員、佐鳥委員、三浦委員、金泉委員、田中委員、内野昌委員、高橋委員、大塚委員、井上委員、田嶋委員（南中校長）、吉澤委員（南小校長）
欠席委員	栗原委員、廣田委員、藤尾委員、黒川委員、松本委員、久保田委員
事務局	南小学校 事務主任 南中学校 教頭、事務主任
議題	(1) 第3回学校運営協議会議事録確認 (2) 令和7年度学校評価の結果について (3) 「地域とともに創る南小・中一貫校の魅力」について
配布資料	・ 令和7年度第4回鶴ヶ島市立南小中学校学校運営協議会式次第 ・ 南小学校 学校だより及び活動の様子 ・ 南中学校 学校だより及び活動の様子 ・ 令和7年度第3回学校運営協議会議事録 ・ 令和7年度第5回学校運営協議会の開催について（通知） ・ 南小学校 第41回 卒業式の御案内 ・ 南小学校 第42回 入学式の御案内 ・ 南中学校 令和7年度卒業式 御案内 ・ 南中学校 令和8年度入学式 御案内
公開・非公開	公開
傍聴人数	0人
会議要旨	(1) 議事録確認 ・ 前回の議事録と要点について確認した。 (2) 令和7年度学校評価の結果について ・ 南小校長、南中教頭が自校の評価の分析と今後の方策について報告し、委員に意見を依頼。 (3) 「地域とともに創る南小・中一貫校の魅力」について ・ CSマイスターのアドバイスのもと、グループに分かれてテーマについて熟議を行った。

【議事概要】

<会長> あいさつ

- ・ 本日は学校評価の検討を踏まえながら小中一貫に向けて魅力の検討を行う。

忌憚なく意見を出していただきたい。

- ・コミュニティスクールマイスター（以下 CS マイスター）にご指導をいただく。

#### <南中校長> あいさつ

- ・学校生活は大きな事故もなく順調。
- ・卒業式や学年末テスト、公立入試に向け準備中。
- ・インフルエンザ罹患が増加しており体調管理に注意。
- ・学校評価アンケートへの協力に感謝。来年度に活かしていく。
- ・CS マイスターにこの後の熟議に助言をいただく。
- ・また、本日は市教委からの参加がある。

#### ○CS マイスターの紹介

- ・三鷹市で PTA、居場所づくりに尽力。
- ・文科省 CS マイスターとして全国で研修を担当

#### 報告

##### (1) 学校（児童・生徒）の様子

○南小校長、南中教頭が資料を基に学校での活動の様子を説明した。

#### <南小校長>

- ・なかよし朝会でいじめ防止の宣言
- ・6年生 修学旅行（日光）
- ・3年生 交通安全出前授業、安全マップ作成を実施
- ・6年生 調理実習ボランティア
- ・龍の子大運動会
- ・3年生 音楽朝会
- ・きらきらフェスティバル（縦割り班）
- ・幼保小連絡会

#### <南中教頭>

- ・模擬裁判
- ・吹奏楽部 ウィンターコンサート
- ・ビブリオバトル
- ・スキー宿泊学習
- ・修学旅行

#### 議題（1）

##### 第3回学校運営協議会議事録確認

### <会長>

前は学校評価について学校からの説明を受けた。それを受けた資料が今回事前に送付されていた。

### 議題（2）

#### 令和7年度学校評価の結果について

○南小校長、南中教頭が学校評価の結果について説明を行った。

### <南小校長>

- ・教育目標理解が教職員・委員で20%以上上昇。  
保護者の理解は課題であり、来年度教育目標を再整理予定。
- ・ICT活用に教員間の差がある。
- ・体力面では運動嫌いの児童が14%おり改善が必要。
- ・特別支援教育の評価は4%向上。

### <南中教頭>

- ・保護者評価は低めだが前年比では全項目で肯定回答増加。
- ・学び合い学習は定着傾向。
- ・ICTはタブレット更新で改善も苦手層あり。
- ・運動部減少により体力向上に課題。
- ・特別支援項目で「相談し解決」の割合が低下。

### <会長>

- ・保護者の評価が低い項目が多い。
- ・「相談していない」回答は共働きやひとり親といった家庭事情によるコミュニケーションの問題も影響か。
- ・ICTについては世の中の方が進みすぎているため、学校とのギャップがあるのではないか。体制が整う前に先にいくので、遅れることは仕方がない。
- ・中学校の体力の項目が低い。運動部の減少、体育の時間が少ないということで意識づけやそれら以外の機会を身につける必要がある。

### <CSマイスター>

- ・体力が小中とも重点目標と受け止めた。生徒の回答に否定的なものが多い点について、設問の「努力」の文言によって否定的になるのでは？

### <委員>

- ・全体を見て、保護者の良い回答が少ない。学校からの思いが届いていないか、期待がもっと大きいのか。原因はいくつか考えられるが、伝わっていない感じを受けた。
- ・児童生徒の「相談」は親、学校以外に相談しているのかもしれないが、それを網羅

していない。設問に引っ張られて「できていない」になるのかも知れない。

<委員>

良い方向に行っているととらえた。学校の様子を見て感じている。より前を見て進めていただければ。

<委員>

- ・「地域と共にある学校」の項目については共稼ぎ、ひとり親で協力できない、ということもあるのかも知れない。
- ・PTA 解散の公約等あったが、中学校にあがると保護者の負担は減る。地域が代わりにやるとして、どこまでできるか。保護者もある程度やってほしいが協力しなくてもいいという風潮になっているのでは。

<会長>

- ・世の中の的に人に任せるといったところもあるが、なるべく参画の意識を持たせたい。
- ・今後の対応について。追加意見は翌週までに提出。メールでの提出も可能。

議題（3）

「地域とともに創る南小・中一貫校の魅力」について

<会長>

- これまでの学校運営協議会での取り組みの経緯
  - ・2021年の学校再編決定後、一貫校づくりの方向性や課題整理を実施。
  - ・2023年に坂戸市立城山小中学校、2024年に三鷹市立東三鷹学園を視察。
- 鶴ヶ島市内の学校再編と南小中一貫校に向けたスケジュール
  - ・2032年頃に南小学校を活用した施設一体型小中一貫校へ移行予定。
  - ・鶴ヶ島中学校と西中学校は翌年度4月に統合予定。
- 児童生徒数の推移の見込
  - ・1985年の児童数1218名→現在361名へ減少。
- 学校に関わる地域の行事の紹介
  - ・タケノコ掘り、ホタル観賞、トウモロコシ種まき、収穫祭、盆踊り、祭りなど
- ボランティアに参加した生徒の声
  - ・役割をもらえるのが嬉しい、大人が優しい、学年間や地域との交流が広がる、など。
- 南小中学校の校区が存在する地域の特徴分析
  - ・東は住宅地、西は畑が多いという地域特性。
  - ・IHI やロボテックセンターなど先端技術産業が存在。
  - ・運動公園や自然環境など教育に活かせる地域資源が多い。

<会長>

- ・短期的な願いもあると思うが、長期的な視野での教育という点も念頭に置いて熟議をお願いしたい。
- ・では、熟議についてアドバイスををお願いしたい。

ワーク：地域行事の魅力整理

<CS マイスター>

- ・児童が非常に落ち着いており、学び合い授業も活発で学習姿勢が良好。
- ・地域の見守りが子どもの成長に寄与している可能性。

○続けたい行事を付箋で書き出し、理由をグループで議論。

<CS マイスター>

なぜそれがいいと思うのか、自由に話してください。  
できれば話した内容も付箋か模造紙に記入してください。  
なぜそれが魅力的なのか。

○各グループで作業を行った後、グループで出した内容を発表

- ・お祭り関係は残したい。理由は中学生ボランティアの存在が大きい。小学生は遊びに来て、中学生は運営を手伝うという好循環。
- ・南小中学校を一貫にするにあたっての行政との関わりについて。ここに通う児童生徒を増やしたいという思いはあるが、どこに住むのか。地域性の話をした。
- ・子供と大人の集いは昔からの風物詩、先人たちの願い、ユーモアを引き継ぎたいので継続したい。
- ・祭りやウォークラリーなどを残したいという意見が出たが、なぜかという大人と子供が触れ合える場所になるから。発展形として地域の防災に中学生も関わる仕組みづくりをしていったら人のつながりも増えるし地域の活性化にもなるのではないか。
- ・畑の体験について、放課後子供教室で小学校の子供たちと野菜を育てて収穫するというを行っている。種まきから収穫、苗の植え付けから収穫など行っている。

<CS マイスター>

時間に制限があるが、本当はもっと皆さんの中でいっぱいしゃべっていただきたい。皆さんが南小中を支えていく核になる人たち。一人一人が意見を出していくことがとても大事だと思っている。

地域の行事は当たり前が続けてきていることだが、それは子供たちにとってどういう価値につながっているのか。大人と子供が触れ合えるという意見があったが、触れ合えることで子供にどういう力がつくのか。

中学生のボランティアが活躍しているということだが、活躍するということは中学生にとってどういう価値があるのか。彼らの中でどうなっていくのか。役割が与えられるとどうなるのか。

さきほどの生徒の意見、すごいことだと思う。なかなか言えない。

「喜んでもらえた時すごく嬉しかった」ということは自己有用感である。

「地域の人が聞いてくれることが嬉しかった」「他の学年と話せた」「あまりかかわりのない地域の人と話ができた」「大人と話すことは緊張、怖いと思っていたが話してみるとちゃんとやさしかった。」

そういう経験を何度もしていくと子供はどうなると思うか？ どういう力になるか？

豊かな心というのはそういうことだと思う。

校長先生はどう思われるか？

<南中校長>

社会性が磨かれ、社会に出た時に周りとの協働する力が身につく。

<CS マイスター>

今は学校の中にいるが、子供たちは卒業していずれ社会に出ていく。

その入り口を皆さんが経験させてあげている。それはすごいこと。

この地域の中であれば子供たちは安心して失敗できる。

失敗してもこの地域の子供であれば、皆さんは「次頑張ればいい」と言ってあげられると思う。

自分も地域活動しているが、子供たちが安心して失敗できる地域でありたいと思っている。

（成人式の写真を見ながら）この子供たちは5年前に中学校にいて、皆さんも知っている子供たちだと思う。今中学3年生の子供たちが5年後このようになる。

これは市教委の方たちに言いたい、学校評価の「地域と共にある学校」の評価項目について、子供には聞いていない。ぜひ子供に聞いてもらいたい。子供たちは地域と共にある学校をどうとらえているのか。

目指すは5年後の今の中学3年生、小学6年生でもよいが、コミュニティスクールの中で育った子供たちが成人を迎えた時にこの地域のことをどう語るのか。聞いてみたくないか？

目指すはこの子供たちを学校運営協議会委員にすること。

この地域の中で育った子供たちなのだから、そういうところを目指して、じゃあ今地域の中でどう育てていくのか。何を強みにしていくのか、学校と地域の皆さんがこういう場であれこれ話をしていくこと。

学校は学校の中で目指すことがある。

保護者の回答に「わからない」が多い、否定的な数字がでるという話があった。

保護者はなかなか何度も学校に足を向けないので、わからないことがすごく多いと思う。ではそれをどう知らせていくのか。学校は知ってもらえるのか。

学校が努力するところは多々あると思うが、学校だけで頑張るところではないと私は思っている。地域の方からの発信があっていいと思っている。

学校は今こういうことをしている、こういうことを頑張ろうとしている、だから家庭もいっしょにやりませんか？ということはこの学校運営協議会の皆さんが中心になって発信していく、働きかけていくとか。

大人と子供が触れ合えるようなイベントにどんどん保護者にも参加してもらえるようにしていくなど、地域の働きかけもいくらでもできる。

学校だけで頑張らない。皆さんと一緒に頑張れるところは学校と地域の皆さんと一緒に頑張っていく。それをこの会議の場で話し合っていくということがこの学校運営協議会の大きな役割であると思っている。

地域の顔役の方たちが多いと思うので、どう地域の方を巻き込んでいくのか、保護者の世代に広めていくのか、つなげていくのか。大切な役割があると思う。

こうした議論を何度も何度も繰り返してお互いの相互理解を深めていっていただきたいと思う。

#### <会長>

この地域は駅から遠いなど地理的な条件はあまりよくないと思っている。それならばこういった地域の人間性を強調しながらいい学校づくり、地域づくりをしていくことが子供たちの成長につながるのではないかと思う。

今日はありがとうございました。

#### 連絡

各団体から今後の予定

#### <会長>

小中学校の予定をいただいている。次回の学校運営協議会の時に地域の行事の情報を入れてください。

○三学期中の学校行事の予定を確認した。

#### <健全育成>

サザン支え合い協議会と合同で3月7日(土)午後「在宅避難と共助の仕組み作り」という講演会を予定している。

#### <会長>

- ・できたら中学生ボランティアの振り返りについて検討したい。
- ・次回は3月16日です。

#### <南中教頭>

来年度の委員について、ぜひとも継続でお願いします。都合がつかないなど何かありましたらお知らせください。

次回は第5回学校運営協議会を3月16日(月)13:40から南小学校で行います。